



University Consortium Ishikawa

20年の軌跡

大学コンソーシアム石川



ご挨拶



大学コンソーシアム石川 会長
和田 隆志

大学コンソーシアム石川は、平成18年4月に設立され、今年度で20年目を迎えることとなりました。

大学コンソーシアム石川は、石川県内すべての高等教育機関が国・公・私立といった枠組みや大学・短大・高専といった種類を超えて活動しています。分野の枠を超えた幅広い知識と視野を持つ優れた人材を一人でも多く石川から輩出することを目指しています。また、高等教育機関と自治体・産業界等との連携を深め、人材育成を通して地域の活性化を積極的に進めています。

設立10周年である平成28年から見ると高等教育機関を取り巻く環境は大きく変わりました。生成AIの進化と普及は、想像すらできないものだったと思います。また、新型コロナウイルス感染症の世界的流行や令和6年の能登半島地震、奥能登豪雨などにより大きな影響を受けました。

このような環境の中、大学コンソーシアム石川は将来を見据え、様々な取り組みを行ってまいりました。機動的かつ横断的に活動するためのプラットフォームである「学都いしかわ防災・復興ネットワーク」を設置しました。そして、石川県のご協力の下、活動拠点として、のと里山空港内に「能登分室」を置きました。また、学びの多様化に対応するために、オンライン講義・スマホに対応したポータルサイトを導入しています。さらに、シティカレッジ講義の全国展開や全国大学コンソーシアム協議会の加盟団体とのアライアンスによる「広域単位互換制度」参加等に取り組んでおります。加えて「官民協働海外留学支援制度～トビタテ！留学JAPAN日本代表プログラム～地域人材コース」に代わるものとして、県内企業からのご寄附により運営される独自の制度である「Take-Off Program」を創設し、学生を海外に派遣しております。

これらの取り組みを推進することにより、人材育成及びさらなる石川県の発展に邁進してまいります。今後も皆様方の一層のご指導・ご協力をお願い申し上げます。

祝辞



石川県知事
山野 之義

大学コンソーシアム石川が設立20周年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。

近年、急速な少子化をはじめ、グローバル化やデジタル化の一層の進展など社会は大きく変化し続けており、また、世界的な感染症の流行や紛争の発生など、様々な問題が相次いで生じております。とりわけ本県では、令和6年に発生した能登半島地震及び奥能登豪雨により甚大な被害を受け、目下鋭意、復旧及び創造的復興に取り組んでいるところです。

こうした中、大学コンソーシアム石川におかれましては、令和6年に「学都いしかわ防災・復興ネットワーク」を設置し、復興支援セミナーの実施や学生ボランティアの派遣など、本県の創造的復興に向けて多大なるご協力を賜りましたことに、深く感謝申し上げます。

今後、諸課題に的確に対応し、石川の活力を向上させていくために、優れた人材を育成し、地域への定着を進めることの重要性が一層増しており、大学コンソーシアム石川が果たす役割は益々大きくなっています。

県としても「石川県創造的復興プラン」並びに「石川県成長戦略」に基づき、大学コンソーシアム石川や高等教育機関との連携を一層強化し、「学都石川」の発展と地域の活力向上につながる取り組みを積極的に進めてまいりますので、今後ともご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、大学コンソーシアム石川の今後益々の発展と活躍をご祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。



金沢市長
村山 卓

大学コンソーシアム石川が創立20周年を迎えられるにあたり、心よりお祝い申し上げます。

これまでの20年間、高等教育機関の連携の枠を超え、石川県全体の知の拠点として、着実な歩みを重ねてこられたことに心より敬意を表します。

近年の人口減少・少子高齢化の進展をはじめ、コロナ禍を経た人々の意識や価値観・行動の変容など私たちを取り巻く環境は大きく変容しています。

その中で、本市の20年先、30年先の将来を見据えたまちづくりの指針である未来共創計画では、「共に学び、未来を創る人を育むまち」を基本方針の1つとして、学生の視点や行動力を生かしたまちづくり活動の推進や、大学と連携した学生と社会人の交流促進などを通して、学生のまちへの愛着を醸成することとしています。

併せて、学生等の若者をまちに呼び込み、賑わいを創出するとともに、大学と連携した地域展開等を一層推進してまいります。

本市は、これからも大学コンソーシアム石川と手を携え、次なる20年先の地域の発展に貢献してまいります。記念すべき20周年の節目を契機として、一層発展されることを祈念し、お祝いの言葉といたします。



概要

大学コンソーシアム石川は、石川県内の高等教育機関相互の連携及び高等教育機関と地域社会との連携を深める役割を担い、これらの連携による教育交流、情報発信、地域連携等を通して高等教育の充実・発展を図るとともにその成果を地域社会に還元し、広く学術・文化・産業の発展に寄与することを目的に設立されました。



高等教育機関連携による石川の『知』の拠点の創出

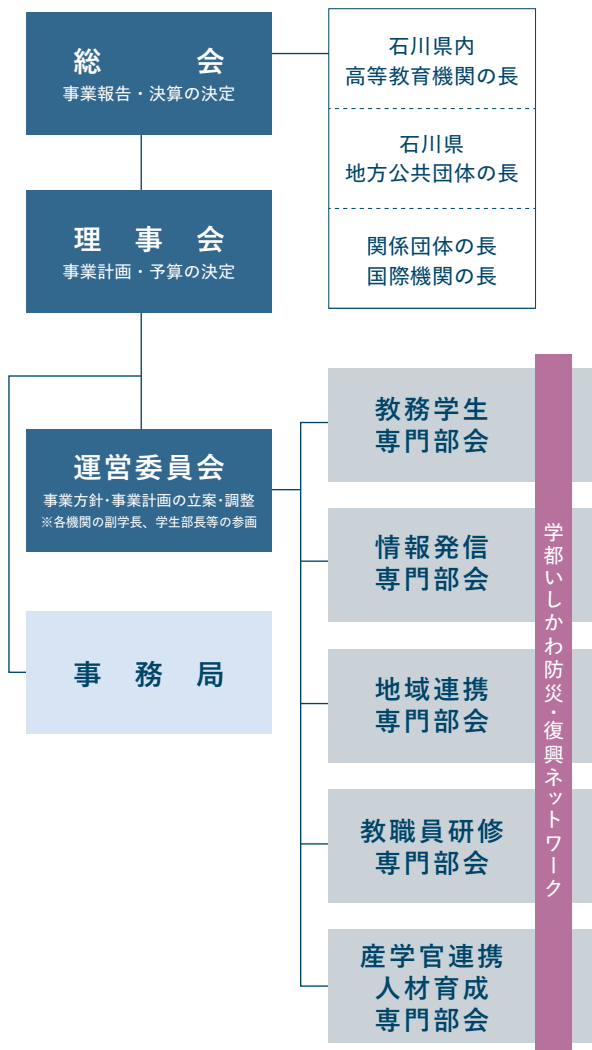
石川県内の20高等教育機関

大学・短期大学・高等専門学校

高等教育機関の機能強化 多様な教育プログラムの実現



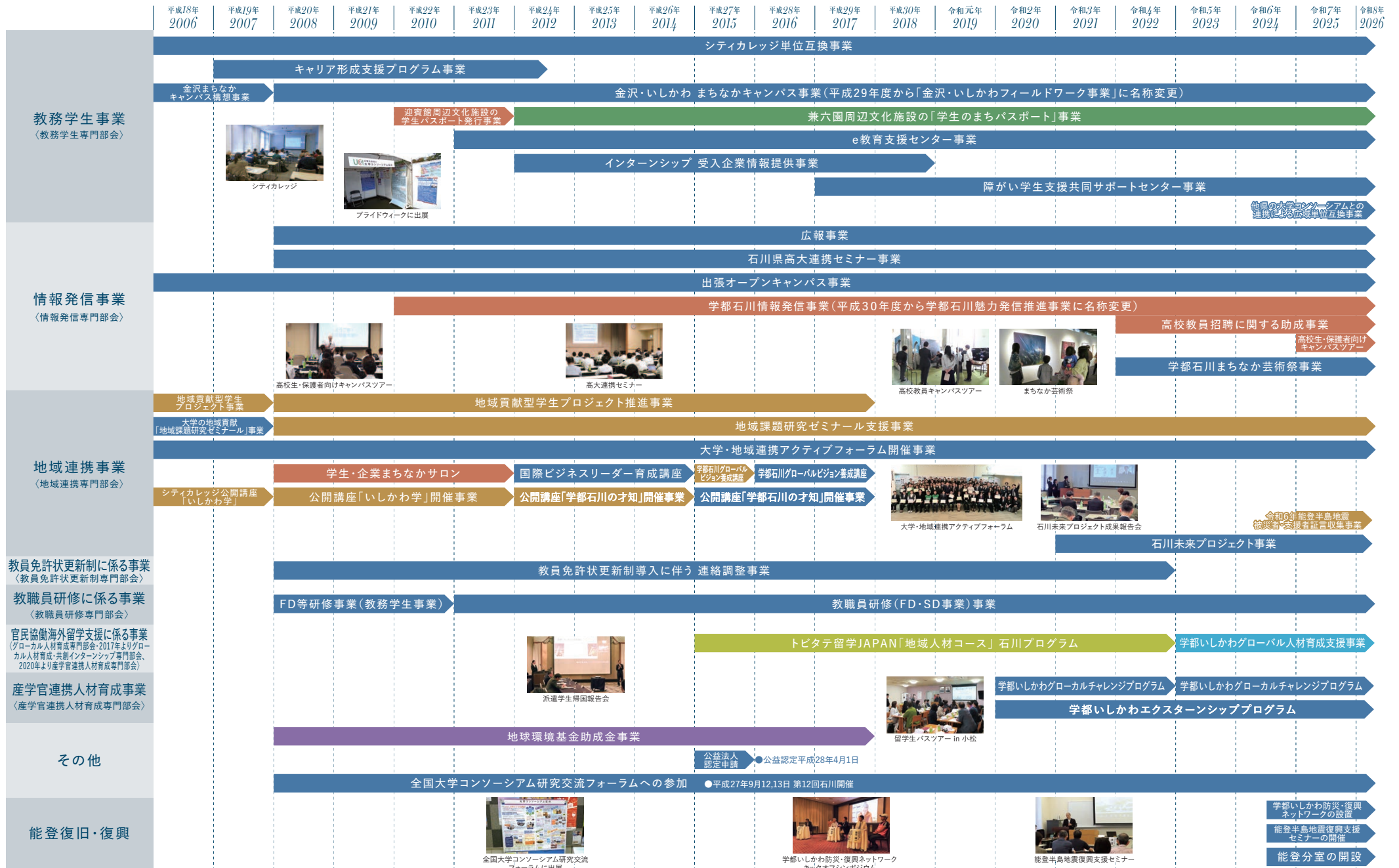
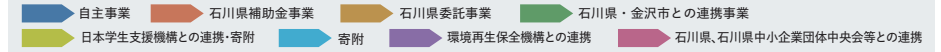
組織



沿革

平成11(1999)年	7月	いしかわ大学連携促進協議会(会長:谷本県知事)設立、石川県高等教育振興室に事務局を設置
平成15(2003)年	7月	県内高等教育機関で単位互換包括協定が締結される。
	10月	学生の単位互換や社会人も講義を聴講できる「いしかわシティカレッジ」等を開始する。
平成18(2006)年	4月	大学コンソーシアム石川が設立、県広坂庁舎内に事務局が設けられ、業務を開始する。
平成20(2008)年	8月	文部科学省の平成20年度「戦略的大学連携支援事業」に採択される(代表校:金沢大学)。
平成22(2010)年	4月	事務局・セミナールームが「しいのき迎賓館」に移転する。
	7月	一般社団法人大学コンソーシアム石川に移行
平成24(2012)年	10月	平成24年度文部科学省「大学間連携共同教育推進事業」に採択され、取組みを開始する(代表校:金沢大学)。
平成25(2013)年	2月	「地域づくり総務大臣表彰」受賞。大学コンソーシアム石川の大学・地域連携に対する取組みが高く評価される。
平成27(2015)年	7月	平成27年度官民協働海外留学支援制度～トビタテ!留学JAPAN日本代表プログラム～地域人材コースに採択される。
平成28(2016)年	4月	公益社団法人大学コンソーシアム石川に移行
	8月	10周年記念事業開催
令和3(2021)年	10月	「金沢文化・学術研究開発都市未来構想」発表
令和6(2024)年	6月	「学都いしかわ防災・復興ネットワーク」の設置
	8月	「のと里山空港」に能登分室の開設
令和8(2026)年	6月	20周年記念事業開催

主な事業一覧



主な事業の推移

自主事業 ——— 自主 石川県委託事業 ——— 県 委

シティカレッジ 単位互換事業

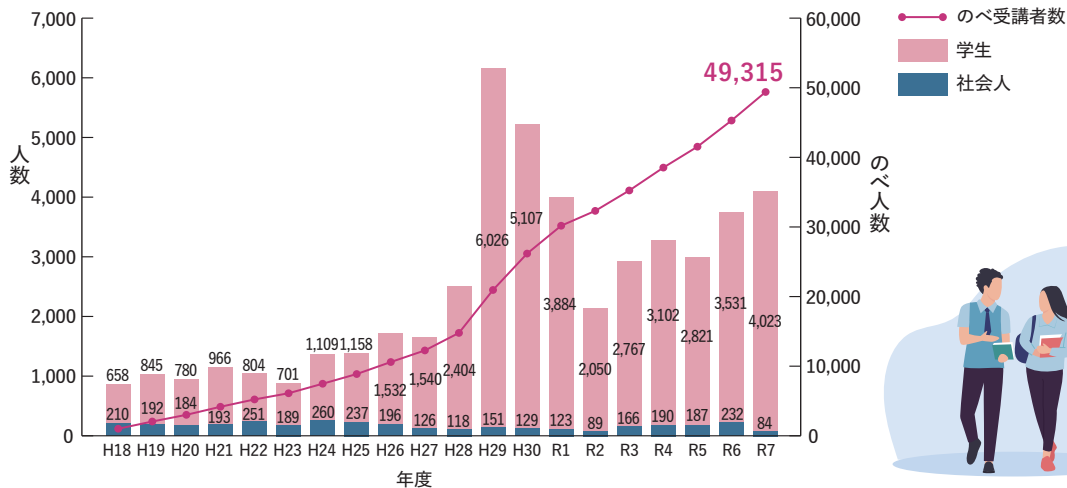
自主

期 間

平成18年度～

のべ受講者数

49,315人



地域連携事業

県 委 自主

期 間

平成18年度～

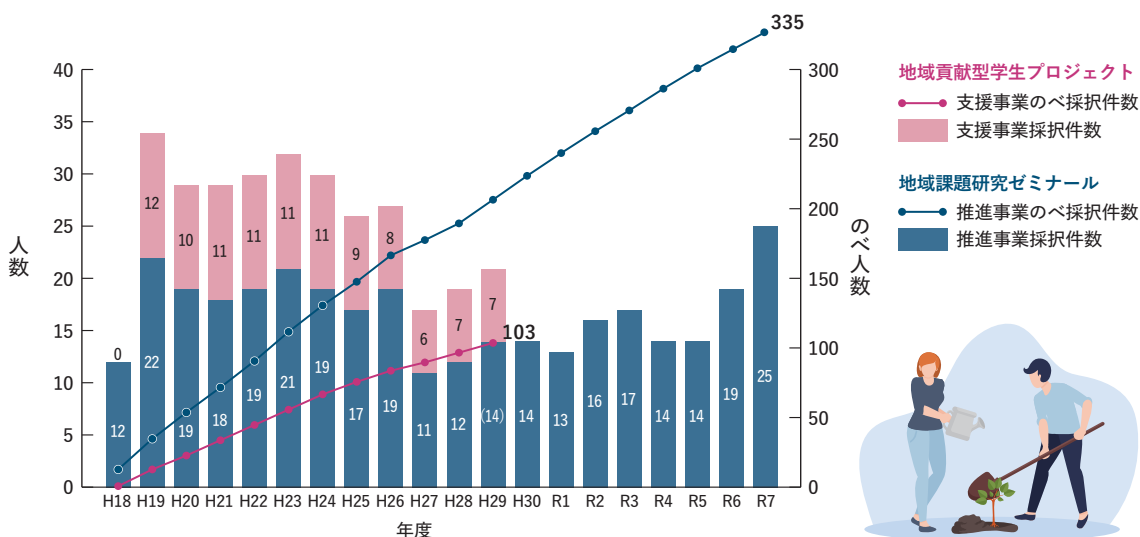
のべ採択件数

地域課題研究ゼミナール
支援事業

335件

地域貢献型学生プロジェクト
推進事業

103件



出張オープン キャンパス事業

自主

期 間

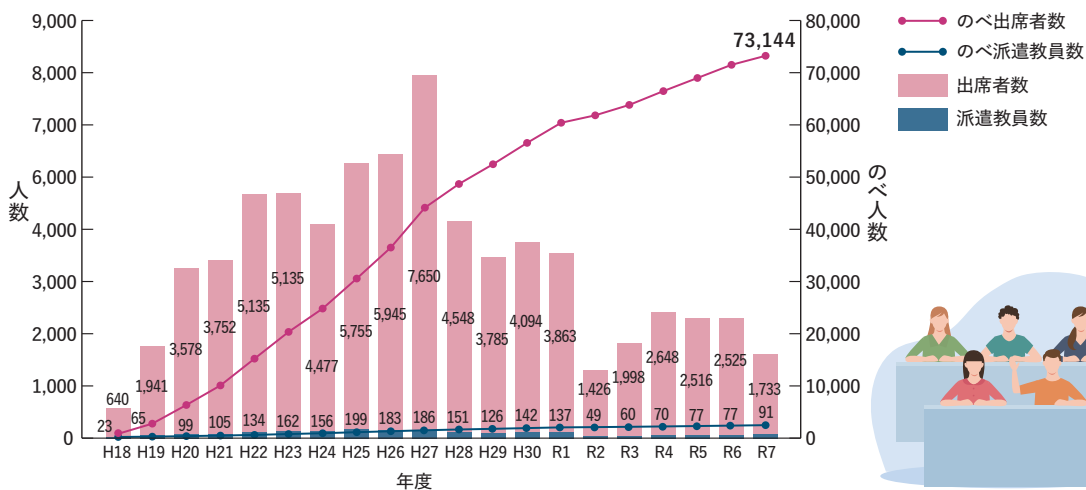
平成18年度～

のべ出席者数

73,144名

のべ派遣教員数

2,292名





歴代の会長・副会長

年度	会長	副会長		
平成18年度	金沢大学長 林 勇二郎	金沢工業大学長 石川 憲一	北陸大学長 河島 進	金沢星稜大学長 早瀬 勇
平成19年度	金沢大学長 林 勇二郎	金沢工業大学長 石川 憲一	北陸大学長 河島 進	金沢星稜大学長 早瀬 勇
平成20年度	金沢大学長 中村 信一	金沢工業大学長 石川 憲一	北陸大学長 大屋敷孝雄	金沢学院大学長・金沢学院短期大学長 石田 寛人
平成21年度	金沢大学長 中村 信一	金沢工業大学長 石川 憲一	金城大学長・金城大学短期大学部学長 本田 昂	金沢学院大学長・金沢学院短期大学長 石田 寛人
平成22年度	金沢大学長 中村 信一	金沢工業大学長 石川 憲一	金城大学長 本田 昂	金沢学院大学長・金沢学院短期大学長 槻木 裕
平成23年度	金沢大学長 中村 信一	金沢工業大学長 石川 憲一	金城大学長 本田 昂	金沢学院大学長・金沢学院短期大学長 槻木 裕
平成24年度	金沢大学長 中村 信一	金沢工業大学長 石川 憲一	金沢星稜大学長・金沢星稜大学女子短期大学部学長 坂野 光俊	金沢学院大学長・金沢学院短期大学長 槻木 裕
平成25年度	金沢大学長 中村 信一	金沢工業大学長 石川 憲一	金沢星稜大学長・金沢星稜大学女子短期大学部学長 坂野 光俊	金沢学院大学長・金沢学院短期大学長 秋山 稔
平成26年度	金沢大学長 山崎 光悦	金沢工業大学長 石川 憲一	金沢星稜大学長 宮崎 正史	北陸大学長 小倉 勤
平成27年度	金沢大学長 山崎 光悦	金沢工業大学長 石川 憲一	金沢星稜大学長 宮崎 正史	北陸大学長 小倉 勤
平成28年度	金沢大学長 山崎 光悦	金沢工業大学長 大澤 敏	金城大学長 半谷 静雄	北陸大学長 小倉 勤
平成29年度	金沢大学長 山崎 光悦	金沢工業大学長 大澤 敏	金城大学長 半谷 静雄	北陸大学長 小倉 勤
平成30年度	金沢大学長 山崎 光悦	金沢工業大学長 大澤 敏	金城大学長 前島伸一郎	金沢医科大学長 神田 享勉
平成31・令和元年度	金沢大学長 山崎 光悦	金沢工業大学長 大澤 敏	金城大学長 前島伸一郎	金沢医科大学長 神田 享勉
令和2年度	金沢大学長 山崎 光悦	金沢工業大学長 大澤 敏	石川県立大学長 西澤 直子	金沢医科大学長 神田 享勉
令和3年度	金沢大学長 山崎 光悦	金沢工業大学長 大澤 敏	石川県立大学長 西澤 直子	金沢医科大学長 神田 享勉
令和4年度	金沢大学長 和田 隆志	金沢工業大学長 大澤 敏	北陸先端科学技術大学院大学長 寺野 稔	北陸学院大学長・北陸学院大学短期大学部学長 楠本 史郎
令和5年度	金沢大学長 和田 隆志	金沢工業大学長 大澤 敏	北陸先端科学技術大学院大学長 寺野 稔	北陸学院大学長・北陸学院大学短期大学部学長 楠本 史郎
令和6年度	金沢大学長 和田 隆志	金沢工業大学長 大澤 敏	金沢学院大学長 秋山 稔	金沢美術工芸大学長 山村 慎哉
令和7年度	金沢大学長 和田 隆志	金沢工業大学長 大澤 敏	金沢学院大学長 秋山 稔	金沢美術工芸大学長 山村 慎哉
令和8年度	金沢大学長 和田 隆志	金沢工業大学長 大澤 敏	金沢星稜大学長 永坂 正夫	石川工業高等専門学校長 富田 大志

能登分室での活動状況



能登分室がある「のと里山空港」(令和8年7月より「のと里山ポケモン・ウィズ・ユース空港」にリニューアル)



金沢大学と金沢美術工芸大学の共催による能登の中学生・高校生を対象にしたデッサン交流会



石川県立看護大学による災害看護セミナー



石川県立大学による県大カフェ(写真は同大のHPから借用)

■ 加盟機関

高等教育機関

大学

国立

金沢大学
北陸先端科学技術大学院大学
石川県立看護大学
石川県立大学
金沢美術工芸大学
公立小松大学

私立

金沢工業大学 金沢星稜大学
金沢医科大学 北陸大学
金沢学院大学 金城大学
北陸学院大学
かなざわ食マネジメント専門職大学

短期大学

私立

金沢学院短期大学
金城大学短期大学部
金沢星稜大学女子短期大学部

高等専門学校

國立

石川工業高等専門学校

私立

國際高等專門學校

放送大学

放送大学石川学習センター

地方公共団体

石川県、金沢市、七尾市、小松市、輪島市、珠洲市、加賀市、羽咋市、
かほく市、白山市、能美市、野々市市、川北町、津幡町、内灘町、
志賀町、宝達志水町、中能登町、穴水町、能登町

関係団体

石川県商工会議所連合会	石川県商工会連合会
(一社)石川県経営者協会	石川県中小企業団体中央会
(一社)金沢経済同友会	(一社)石川県鉄工機電協会
(一社)石川県繊維協会	(一社)石川県食品協会
石川県酒造組合連合会	(一社)石川県情報システム工業会
(公社)金沢青年会議所	

国際機関

国際連合大学サステナビリティ高等研究所
いしかわ・かなざわオペレーティング・ユニット

